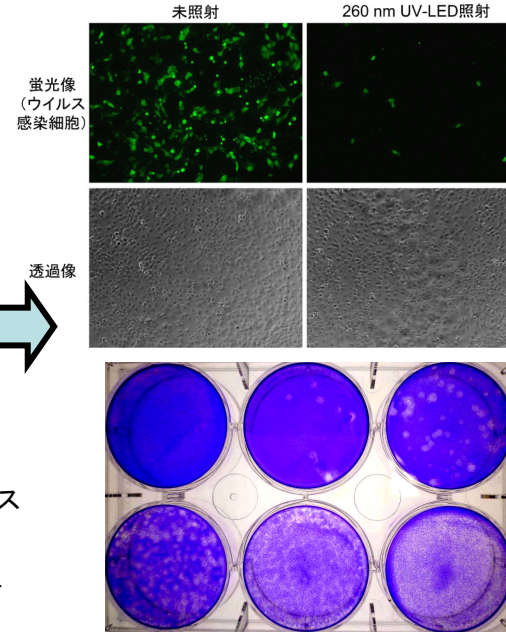
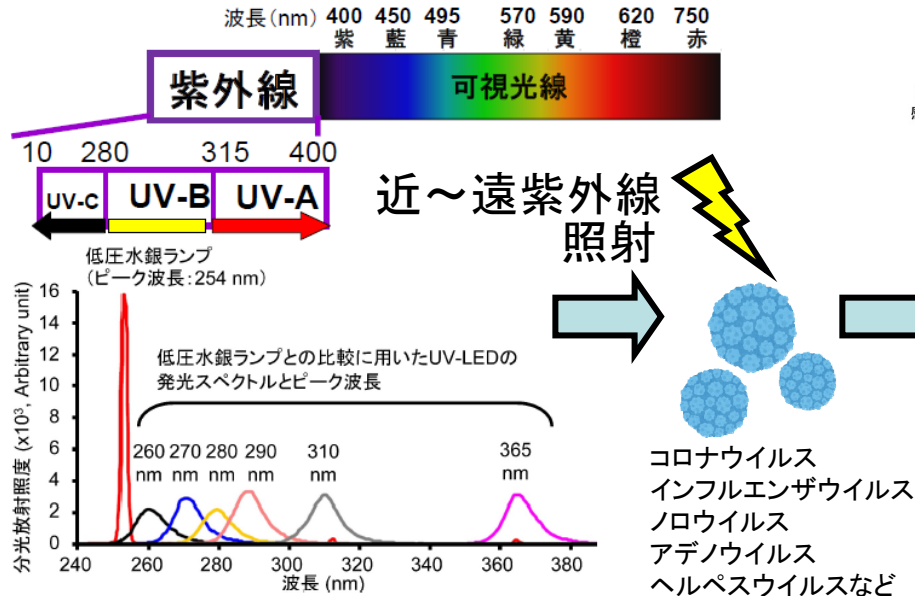


発光ダイオードなど次世代紫外光源を
様々な種類の病原ウイルスに照射

ウイルス力価や
構成成分の変化を評価



ウイルス力価の変化に寄与した
ウイルス構成成分と光源因子を解析

ウイルス不活化の効率化に寄与する
紫外線光源の因子を指標化・数式化

紫外線光源の発光スペクトルとウイルスRNAの吸収スペクトルとの相関性を示した係数「 R_{AE} 」の計算式

$$R_{AE} = \sum_{\lambda=b}^B |A(\lambda) \cdot S(\lambda)|^2$$

A(λ): ウイルスRNAの吸収スペクトル
S(λ): 光源の発光スペクトル
B: 最大波長 (nm), b: 最小波長 (nm)

実証実験

シミュレーション

新たな光源や
照射方法を開発

ウイルス感染症
予防へ応用